

11月16日土曜日に、高輪ゲートウェイ駅の開業に向けた山手線・京浜東北線が運休しました。

山手線の運転見合わせを伴う工事はJR東日本発足後初の出来事だそうです。山手線は田端から大崎間で夕方まで運休になりました。今まで通っていた線路を東側に移設して、高輪ゲートウェイ駅(建設中)に乗り入れるようになったようです。

高輪ゲートウェイ駅は2020年春頃に開業予定です。引き続き、利便性向上のための工事を行い2022年頃には品川駅の山手線外回り(渋谷・新宿方面)と京浜東北線(大宮方面)が同じホームで乗り換えができるようになるようです。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第404号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第387回技術サロンを12月12日(木)に開催します！
- ・「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディ」の共同研究者募集について
- ・「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計」の共同研究者募集について

■機構の動き

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・地球温暖化(機構子さんからの投稿です)

■ピックアップ! 機構情報

- ・トピックス
(生ごみ利用しバイオガス発電場内利用で効率的な施設運営)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・11/15付下水道ホットインフォメーション

●第387回技術サロンを開催します！

日時：令和元年12月12日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

インフラ技術業務部 有償技術審査室 兼 地球環境部 環境管理グループ

高橋 悠太氏

テーマ：JICA における下水道分野への協力手法とその動向

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon387>

●「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディ」の共同研究者募集について

「下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディ」の共同研究者募集を開始しました。

募集締め切りは令和元年 12 月 20 日 (金) 正午です。

※詳細はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2019-11-18-collaboration1>

●「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計」の共同研究者募集について

「改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための計画・設計」の共同研究者募集を開始しました。

募集締め切りは令和元年 12 月 20 日 (金) 正午です。

※詳細はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2019-11-18-collaboration2>

。○。

機構の行事予定

。○。

●今週はありません。

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●地球温暖化 (機構子さんからの投稿です)

気温が高く、台風や豪雨が連続した 9 月、10 月が過ぎ、ようやく天気も安定して秋らしい日になって来たかと思ったら今日はもう北国での降雪、寒波到来のニュースがもたらされました。近年はちょうど快適な気温の日は短く、暑さの後にはすぐ寒さが来るような気がします。

アメリカ合衆国でも、10 月初旬にワシントン DC で 37 度に迫る季節外れの熱波に見舞われたにもかかわらず、11 月 10 日の週には中西部、東部全域が寒波に見舞われ、各地で 11 月中旬としては史上最低気温を記録したと報じられています。コロラド州デンバーでは、前週末に 21 度だった気温が週明けに氷点下 10 度にまで低下。たった 3、4 日のうちに 31 度もダウンしたそうです。

これらも地球温暖化の影響でしょうか？国連で各国政府に対策を訴えた少女、グレタ・トゥーンベリさんの、「裏切ったら絶対に許さない」という言葉が思い出されます。環境省が「家庭でできる 10 の温暖化対策」を公表しています。「冷房を 1 度高く、暖房を 1 度低く設定」、「買い物袋を持ち歩き、包装の簡単な野菜を選ぶ」、「家族が同じ部屋でだんらんし、暖房と照明を 2 割減らす」など、地球温暖化だけでなくその他にも良い影響

をもたらすようなものもあります。私も、まずは自分のことから始めようと思いません。ペンネームも「気候子」にしようかな。

。○○。

ピックアップ! 機構情報

(下水道機構情報 Vol. 14 No. 29 2019. 7 の中から記事をご紹介します)

。○○。

・トピックス

(生ごみ利用しバイオガス発電場内利用で効率的な施設運営 恵庭市水道部)

恵庭下水終末処理場では、平成 24 年から下水汚泥と生ごみ、し尿・浄化槽汚泥を集約混合処理し、下水道システムを活用したバイオガス発電事業に国内で初めて取り組んでいます。同事業は、下水道担当の所管である下水終末処理場と廃棄物担当の所管である生ごみ・し尿処理施設の連携によって実現した取り組みです。生ごみの有効利用に向けた処理を行うことで施設維持管理コストの削減や、エネルギーの有効活用の実現に寄与することが期待されています。事業開始から 7 年経過した現在の状況や今後の展開等をお伺いしました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-11-18-quarterly1>

下水道機構情報 Vol. 14 No. 29 2019. 7 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly29>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 17 号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter17>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○○。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。○○。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

国からの情報

。○○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2019.11.15の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

台風19号による東日本を中心にした大きな浸水被害から12日で1ヶ月経ちました。各地で、関係の皆様のご尽力により、復旧・復興に向けた取組が進んでいます。

また、今週は、13日に下水道事業促進全国大会が東京で開催され、国土交通大臣を始めとする幹部が来賓として出席しました。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 【令和元年11月13日】 下水道事業促進全国大会に赤羽大臣、御法川副大臣、門政務官、和田政務官が出席（国土交通省）
- 下水道キャラバン（下水道事業における広域化・官民連携・革新的技術（B-DASH）に関する説明会）を全国7会場で開催しました（国土交通省）
- 池田市でマンホールサミット開催 約4,500人が来場
（下水道広報プラットホーム（GKP））
- 3回目の管路更生大学を実施しました（日本大学）

-
-
- 【令和元年11月13日】 下水道事業促進全国大会に赤羽大臣、御法川副大臣、門政務官、和田政務官が出席（国土交通省）

11月13日（水）、都内で「下水道事業促進全国大会」（主催：日本下水道協会、全国町村下水道推進協議会、流域下水道都道府県協議会、全国流域下水道促進協議会連合会）が開催され、赤羽大臣、御法川副大臣、門政務官、和田政務官が出席しました。

来賓として挨拶した赤羽大臣は、「施設の老朽化、人口減少等に伴う使用料収入の減少、管理体制の脆弱化などの課題に対応し、下水道の持続性を確保するためにも、国土交通省として下水道予算の確保にしっかりと取り組んで参ります。」と述べました。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_007209.html

- 下水道キャラバン（下水道事業における広域化・官民連携・革新的技術（B-DASH）に関する説明会）を全国7会場で開催しました（国土交通省）

国土交通省では、下水道事業の中長期的な持続性を確保するための有効な取組等について、各地方公共団体において実践することを推進するため、全国7ブロックにて、本省及び取組地方公共団体発表による説明会（下水道キャラバン）を開催し、資料を国土交通省ホームページに掲載しましたので、お知らせします。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000550.html

【自治体発表一覧】

<広域化>

岩手県、新潟県、愛知県、八尾市、島根県、香川県

<官民連携>

旭川市、岩見沢市、鶴岡市、柏市、金沢市、かほく市、豊橋市、豊田市、堺市、大阪狭山市、神戸市、姫路市、広島県、高松市

<B-DASH>

札幌市、秋田県、富山市、豊田市、兵庫県、倉敷市、須崎市

- 池田市でマンホールサミット開催 約4,500人が来場
(下水道広報プラットフォーム (GKP))

下水道広報プラットフォーム (GKP) と大阪府池田市は、2019年10月19日、池田市五月山体育館で「第9回マンホールサミット in 池田」を開催しました。「事始めのまち池田から発信！」をサブテーマにした今回のサミット。全国から事始めに因んだマンホール蓋を64枚(過去最多)集めて展示したほか、多彩なゲストによるトーク、マンホールカードの配付、マンホール蓋版画の制作体験などを行いました。

会場には朝早くから長蛇の列ができ、来場者は約4,500人にのぼりました。

詳細はGKPのサイトでチェック！ : <http://www.gk-p.jp/2019/11/05/2798/>

- 3回目の管路更生大学を実施しました(日本大学)

日大生産工学部では、産学連携による実践力を備えた学生の育成を教育目標のひとつにあげています。一方で、下水道界は建設からメンテナンスの時代にシフトしておりメンテナンスがわかる技術者の需要が高まっています。

しかしメンテナンスの需要に対する大学側の対応は緒に就いたばかりです。

そこで、社会のニーズに合った土木技術者を教育するために土木工学科では、一般社団法人・日本管路更生工法品質確保協会(品確協)および東京都下水道サービス株式会社(TGS)などと連携して下水道管路のメンテナンスの講義を平成29年度より実施しています。

この講義は、3年生の水環境浄化システム・同(S)15回の講義のうち5回をあてて実施しており、この5回の講義を管路更生大学と呼んでいます。

令和元年度の講義内容は以下のとおりです。

- ・第1回(9/17)～第10回(10/22)：基礎的な下水道の講義と試験 森田教授(日本大学)
- ・第11回(10/25)：管路の維持管理 講師 高橋常務
(下水道メンテナンス協同組合)
- ・第12回(10/29)：下水道管路の調査点検 講師 田村課長(TGS)
- ・第13回(11/1)：管路更生工法 講師 佐藤理事(品確協)
- ・第14回(11/8)：管路更生工法のデモ施工
(3SICP技術協会、EX・ダンビー協会、日本SPR工法協会、品確協)
- ・第15回(11/12)：試験(森田教授)

このうち第14回のデモ施工は、生産工学部の全学生と全教職員にも開放しており、今年、更に大学の地域貢献策の一つとして社会人にも開放しました。

千葉県庁の下水道関係職員8名に参加して頂きました。

【参考情報】

◆ 下水道復旧 手順を確認 今治で訓練 <愛媛新聞 11/12>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191112-12021401-ehime-138>

- ◆ 仙台市、丸森町に技術職派遣 要請受け最大10人 <河北新報 11/13>
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191113-00000005-khks-pol>

- ◆ 水害防ぐ神殿ならぬ「地下トンネル」雨水集めて大阪湾へ <産経新聞 11/12>
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191112-00000633-san-pol>

- ◆ 「内水氾濫」ハザードマップを=広域浸水受け、自治体に通知—国交省
<時事通信社 11/10>
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191110-00000006-jij-pol>

- ◆ 全国初！テックフォース1日隊長にサンフレ森崎さん
<広島ホームテレビ 11/11>
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191111-00010012-hometvv-l34>

- ◆ 災害時トイレ、課題探る 静岡で研修会、被災自治体が指摘
<静岡新聞 11/15>
https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191115-00000017-at_s-l22

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>